



◆ ワークショップの様子（出席者 20 名）

町が考える千代田地区のまちづくりの内容を受け、熱い意見交換が繰り広げられた

第2回 千代田地区 まちづくり勉強会 開催

令和6年
11月20日（水）
成田空港温泉 空の湯会議室

✓ **本勉強会の目的**は、本地区のまちづくりについて、昨年度まで開催していた町から地権者様への一方的な説明の場ではなく、空港会社・民間企業等の方々をオブザーバーとしてお招きし、多角的な視点から意見交換・議論をすることでまちづくりの実現性を高め、機運の醸成・合意形成の深度化を図ることとしています。

✓ 地権者様の参加につきましては、現在 10 名の参加申込みをいただいているところですが、引き続きご参加いただける方を募集しておりますので、ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

まちが目指す“まちづくりの姿”とは・・・

まちづくりの課題と今後の期待

-第5次芝山町総合計画より-

当町が定める「第5次芝山町総合計画」において、まちづくりの課題及び今後の期待を整理しており、**まちづくりの課題**としては、

- ① 人口の減少と少子高齢化の進行
- ② 生活の利便性や地域活力の低下
- ③ 公共サービスを維持するための財源確保

というような点を主な課題として捉えております。

上記課題がある一方、**今後の期待**としては、

- ① 成田空港の更なる機能強化による波及効果
- ② 圏央道の整備などによる交流人口の増加

といった点があげられ、これらの効果を最大限波及させることにより、町が大きな発展を遂げることも大いに期待されていることから、このような変化に柔軟かつ適切に対応するべく、まちづくりを進めております。

まちづくりの将来像と目標

-第5次芝山町総合計画より-

計画の全体像ですが、**基本理念**は「次世代が誇れる芝山」創生への始動、**将来像**は「まち・子育て・仕事・暮らし 充実と希望が生まれる国際空港町（タウン）・芝山」、と定義しており、その中にまちづくりの目標や施策の大綱を定めております。

創生への始動、という言葉にあるように、常に新しい時代を見つめながら、ここ芝山から新たな時代を築いていく、その先には、**まち・子育て・仕事・暮らしの中に、充実と希望が生まれる国際空港町（タウン）・芝山**があるというビジョンを描いております。



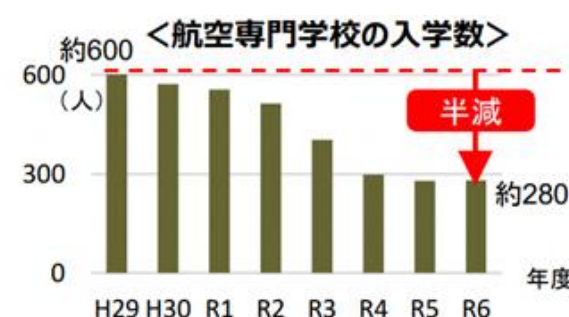
空港近接という立地特性をどう生かす？

まち・子育て・仕事・暮らし 充実と希望が生まれる国際空港町（タウン）・芝山。その将来像にあるように国際空港と密接な関係にある当町の中でも特に千代田地区は空港に近接しています。

成田空港も更なる機能強化を進めている状況であり、今後、アジア地域の航空需要も増えることが予測される一方、航空人材不足は深刻な状況を迎えています。

日本の経済を支える上で重要な役割を果たす首都圏の空港。そのうちの一つである成田空港の成長は今後の日本を支える重要な柱になると捉えており、千代田地区はその成長を支える重要なエリアであることは間違いありません。そこで、町からは、千代田地区を**航空産業の未来を創る人材育成**、そして**空港隣接という立地特性を生かした空港機能と連携した土地利用を図るエリア**として位置づけることを提案いたしました。空港周辺市町の1つである芝山町が果たす役割とは何か。そのような広域的な視点を踏まえたまちづくりが必要と考えております。

航空専門学校の入学者数が半減



出典：国土交通省 航空整備士・操縦士の人材確保・活用に関する検討会資料

成田空港が抱える課題とは・・・その現場の声に迫る！

今年の7月から11月頃にかけて、町が航空会社・空港関連企業を中心にヒアリングを実施。

空港機能と連携した土地利用を目指す上で、実際に空港の現場ではどのような課題があるのか、また航空会社や空港関連企業から見ると千代田地区にどのようなニーズがあるのか、その内容を的確に把握することを目的に町は民間企業に対し、ヒアリングを実施しました。千代田地区に近接する整備地区、航空機整備を担う企業からは人材不足が課題であり、航空業界の必要性や魅力等の伝授、

教育機関の誘致に関する必要性の課題が挙げられました。また、各社へヒアリングを実施する中で、やはり“空港からの近さ”が最大の強みではというご意見を頂戴し、その強みを生かすべく、社員寮、会議室やオフィス、さらにはパイロットや客室乗務員が定期的に訓練を行うための訓練施設の必要性等に関するご意見も頂戴しました。

訓練施設が足りない・・・

航空機の乗務員であるパイロット及び客室乗務員については、安全かつ快適なサービスをお客様に提供するため、定期的に訓練を受けることが必須とされています。羽田空港周辺には大手航空会社の訓練施設が整備されているものの、主に成田空港をベースとしている一部の **LCC 航空会社**は訓練施設を保有しておらず、

大手航空会社の訓練施設の空き時間（夜中が多い）に訓練を行っている状況です。さらに驚いたのは、国内の訓練施設に空きがない場合、わざわざ海外の訓練施設に行って訓練を受けているという事であり、成田空港周辺における訓練施設の必要性を双方で認識させていただきました。

人材育成も必要！

人口減少・少子高齢化が進む中、航空人材不足が深刻化していることから、今の空港を支える人材確保もさることながら、未来の空港を支える人材の育成も必要であるとのこと意見もいただき、航空人材を育成する教育機関（専門学校等）にもヒアリングを実施しました。

実際、教育機関側も人口減少による課題を抱えており、即戦力が必要な状況にある中、企業側が求める人材に応じられるような教育プログラムの模索や、空港に隣接した教育施設の魅力を活かした学生募集戦略の必要性等の課題が挙げられました。また、教育機関を運営する上で、交通アクセスの利便性や学生寮の確保等、学生生活を支える良好な教育環境を整えることも重要であり、特に交通アクセスは学生募集に大きく影響する要素であるなどのご意見を頂戴しました。今後は、企業側と教育機関側、そして自治体等が連携し、航空人材の育成を行う必要があることを双方で認識いたしました。

航空会社・空港関連企業へのヒアリング結果

業種	ヒアリング結果
エアライン	LCC各社が共同利用出来る訓練施設整備の必要性が示された
ターミナルサービス	オフィスにおいては、インキュベーション施設※等の可能性も示された ※起業家の育成や新しいビジネスを支援する施設
航空機整備	航空分野における業種間のコミュニティ活性化等の観点からシェア寮の希望が示された
航空教育機関	学生の通学利便性、学校周辺での住まい（共同住宅等）の確保の重要性が示された
航空関連産業全般（学識経験者）	・日本国内における航空機産業の役割分担の必要性が示された ・その中で整備地区を有する成田空港周辺エリアにおいては 航空機整備関連産業の集積可能性 があるとの見解が示された

航空機運航を支えるために様々な職種のスタッフが関わっている

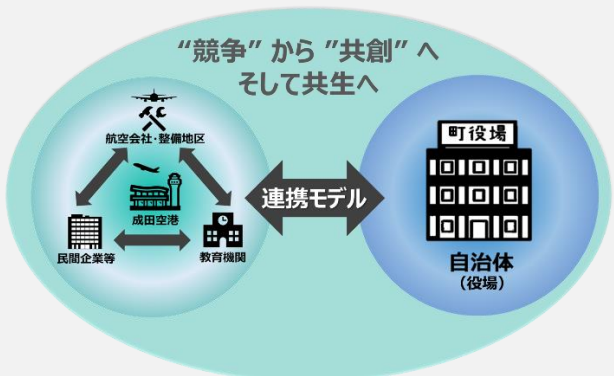


これからの時代に合った千代田地区を創るために

人口減少の進行、コロナ禍の影響等による航空人材不足の深刻化等、日本、芝山町、航空業界等を取り巻く現状は非常に厳しい状況です。千代田地区が潤うためにも空港を活性化させていく必要があります。
では、そのためにどのようなまちづくりを目指すのか？
まず、人口増加時代のモデルから、人口減少時代に合った新しい社会の仕組みを構築する必要があると考えております。それは、制度や組織、地域の垣根を越えて、施設や人材を戦略的に活用する、そのために自治体は単なる「行政サービス」を実施する役割だけでなく、産・官・学が連携し合うための場を設定する、共同事業体を構築する役割も担うという発想へ転換し、実践していくことが求められます。

例えば、航空という観点から見た場合、必要な資格や知識を有した即戦力となる航空人材・関連産業人材を今以上に育成する必要があります。限られた人手を有効的に活用するべく、航空会社、空港、教育機関、地域などが連携し、力を合わせて人材育成等に係る環境の整備を行っていくことが重要です。
一方、日本の人口は減少傾向にある中、世界の人口は増加傾向にあり、今後特にアジア地区を中心に航空需要の増加が見込まれることから、外国人材の受け入れ、教育環境の整備等、航空需要に適切に対応できるよう体制を整えていく必要もあります。そのような体制を整えると共に、ヒアリングで頂戴したニーズを適切に土地利用に反映していけるよう引き続き検討を進めてまいります。

目指していきたいモデル



住民の方から頂戴したご意見は宝物！（ワークショップの結果）

当日実施したワークショップにおいては、左記のとおり、様々な観点からご意見を頂戴しました。その地にお住いの方からのご意見は非常に貴重であり、様々な視点から意見を出し合うことで、そこにヒントがあり、そして答えに生まれ変わっていくものと考えております。上述のとおり、今後は人口減少がより一層進行します。その中でより良い町を創るためには、様々な面で日本人同士が連携して

いく必要があります、住民の皆様のエッセンスも貴重になります。お子様、お孫様の世代が笑って暮らせる町になるよう、一緒になってまちづくりを考えていければ幸いです。

引き続き皆様と共にまちづくりについて議論を進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

ジャンル	主なご意見・アイデアなど
交通・インフラ	買い物環境の不十分 さや 公共交通機関の不足 が大きな課題。
企業誘致・経済発展	航空関連産業への着目は良い。企業誘致に当たっては住む場所も必要。生活インフラや商業施設の整備が必須があり、企業が進出するためには、 地域全体の付加価値を向上させる仕組み が必要。
医療・福祉	医療施設の充実 が求められ、特に、高齢化社会に対応した医療・福祉の強化。
教育・人材育成	訓練施設の整備や教育機関との連携においては、町から学費や奨学金などの補助も必要。教育機関があり、空港で実習を実施し、そして空港に就職するというサイクルができれば良い。
住環境	住環境の改善のためには、 商業施設や保育施設の充実 も重要。
地域振興	他の地域と比較して 優位性・独自性 を創出するためには、 成田空港との一体化 が必要。 (町と空港会社との連携)
政策・行政	行政が主導する形でのまちづくりや、政策立案が求められ、人口増加や住環境の改善など、 多面的かつ具体的な取組 が必要。
その他	航空関連企業が立地することによる地域住民のメリットとは何か？

次回！ 第3回勉強会の内容

- ・まちづくりに携わられている民間企業の方から、**まちづくりを具現化するためのヒントや助言等をいただきます！**
- ・**開催時期は1月下旬を予定**しております。皆様のご意見は宝です！是非ご出席のほどよろしくお願い致します。